

第157回診療報酬基本問題小委員会（平成24年4月25日）での議論

○鈴木委員

どのようにして前回改定で再診料が引下げられたのかの検証をして、現在の決め方の問題点、在り方の現状を検証してから次に進むべき。

コストありきではなく、現状の検証と今後の在り方については、地域医療を守るという観点からの評価の在り方も検証していただきたい。

○白川委員

コスト調査をやるということであれば、決められた財源の中の構成を変える話になると思うが、そのために莫大な費用と時間と手間をかけてやる必要が今の段階であるのか。

基本診療料だけではなく、特掲診療料についても同様に分析をしないと話がおかしくなる。

○白川委員

診療側の先生方は、経営の安定、医療従事者の方々の納得性の観点から基本診療料はどういうものが入るべきだという御発言が多いように考えるが、我々にとってみて、基本診療料というのは、医療機関にかかったときに、最低限これだけはかかるという考え方である。

どういふ方だろうと、まさに基本的には、これだけの費用はかかり、特別な医療サービスを受けた場合は、プラス α 、これが特掲診療料だという考え方で、病院の医療機関の経営は基本診療料がベースだという考え方はとっていない。

○西澤委員

明細書にも初診料、再診料だとか、入院基本料が入っているが、この入院基本料というのは、どういふふうな経費か患者に答えるためには、どういふものが入っているかという議論も必要ではないか。